

清流

こんなことも考えています(その2)

衆議院では、政府が今国会の最重要課題と位置づけている「働き方改革関連法案」の審議が行われています。法案の内容については様々な視点や考え方があるようですが、その点は別にして、ここに至るまでには、過労死や労災認定に至る自殺などが多く発生し、様々な職場で時間外労働を減らす取組に着手され、すべての職場で何らかの手立てが必要なことは確実です。

また最近では、様々なところで教師という仕事が「ブラック」(俗語ですが一番伝わりやすくて使います)だと言われています。理由は様々あるのですが、それを書き出すと紙面が足りませんので省いて話を進めますと、甲佐小学校も例外ではないのです。今年度になって、2ヶ月連続で「過労死ライン」と言われている時間外勤務80時間を超えている職員が3名、5月に至っては、100時間超えが4名という現実です。5月は運動会があったため仕方がない面はあるとしても、このような状況は今に始まったことではないのです。

そこで、私は次のような書面を職員に渡しました。

1 意識改革

(1)『いい加減』(通常の会話で使用する悪い意味ではなく、文字どおりの意味)に仕事をする。

・「子どものために」だけを考えたら、やることに際限はなくなる。

時には、「自分のために」を考える。

・仕事に軽重をつけ、省けるものは思い切って省く。

・場合によっては、「明日できることは、明日に回す」

(2)ぜひ、プライベート生活の充実を。

・それぞれの先生方に豊かな人生を送ってほしい。

・プライベートの充実は、ひいては、「子どもたちのため」になる。

・「早く帰ってやりたいことがある」「早く帰って会いたい人がいる」ことは仕事の効率化につながる。

(3)いろいろと整理する。

・いろいろな整理をすることで仕事の効率を向上させる。

・まずは、身辺や机上、書類の整理をする。

・頭の中も整理する。

前述の仕事の軽重に加え、仕事の順番付けと完了期日を決め、計画的に仕事を進める。

2 具体策

(1) 定時退勤日の徹底

・毎週水曜日を定時退勤日とする。

・定時退勤日を徹底するために、各自が上記の意識改革とその実践に取り組む。

・原則としては、校長が施錠する。

(2) 学級通信の記事部分の発行を2週に1回とする。

・全校的に一斉に取り組む。

始めるにあたっては、学校だよりで校長から全保護者へお知らせする。

・子どもたちの様子については、学校HPでの情報発信を充実させる。

・どうしても伝えたい内容がある場合は、その都度発行する。

(他の学級とのバランスがあるので、頻繁にならないようにする。)

(3) Aipo6等の導入による、ICTを活用した校務の効率化

・情報共有の効率化

・年休取得等の手続きの効率化

私は学校の責任者として、子どもを守ることが何よりも大切ですが、同時に職員を守る必要があります。この書面は保護者の方々にお知らせするような内容ではないと思いつつ、お伝えしなければならぬ事が二つ含まれており、その二つを決定した経緯を知っていただくためには、そのまま、お伝えすることが一番だと考え、掲載しました。そして、お伝えすべき内容は上の書面にもある次の二つです。

(1) 今後、毎週水曜日は定時退勤日とします。(職員の退勤時間は当面17:30)

(2) 今後、学級だよりの記事部分は2週に1回の発行とします。

様々なご意見等がお待ちしておりますが、まずは状況と上記具体策にご理解をいただきますようお願いいたします。